

大野町舗装長寿命化修繕計画

令和4年3月

大 野 町

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

- 3.1 計画期間
- 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1 級町道	28.1km	27.9km	0.1km	99.6%
2 級町道	30.2km	28.2km	0.1km	93.7%
その他町道	350.0km	311.5km	2.2km	89.6%
計	408.3km	367.6km	2.4km	90.6%

※As 舗装に簡易舗装を含む

1.2 舗装修繕予算の現状

舗装は、平成 28 年度から令和 2 年度の 5 か年平均で年間約 6 千万円を掛けて修繕していますが、ポットホールの緊急小修繕や、ポットホールによる車両の損傷事故が後を絶っていません。

大野町を取り巻く財政状況は厳しく、公共投資に対する予算は確実に減少傾向にあります。一方で、舗装の老朽化は確実に進行しています。このため、限られた予算の中で適切な時期に対策を行うことが求められています。

1.3 舗装の現状

大野町では、平成 26 年度に 33.9km、平成 29 年度に 2.1km の路面性状調査を実施しています。

H26 診断時		H29 診断時	
MCI 値 5.0 以上	MCI 値 5.0 未満	MCI 値 5.0 以上	MCI 値 5.0 未満
15.9	18.0	0.2	1.9

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装長寿命化修繕計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2.2 管理道路の分類

・大型車交通量を踏まえ分類

分類	対象道路
分類 C の道路	1 級町道
分類 D の道路	2 級町道、その他町道

2.3 管理基準

維持管理指数 MCI 値※を求め、健全性を診断します。維持管理指数 MCI 値が 5.0 未満となった場合、当該道路を舗装補修の対象とします。

※MCI 値：路面性状を評価する数値。評価区間ごとに算出した『ひび割れ率』『わだち掘れ量』および『平坦性』から総合的に評価します。

MCI 値	維持修繕の基準
3 未満	早急に修繕が必要
3 以上 4 未満	全面的補修が必要
4 以上 5 未満	部分的な補修が必要
5 以上	望ましい管理水準

「道路設計要領 平成 27 年度 4 月（令和 3 年 4 月 一部改訂）：岐阜県」

2.4 点検方法・点検頻度

	実施頻度	
	巡視の機会を通じた路面状況把握	路面性状調査
分類 C の道路	随時	修繕の詳細設計時
分類 D の道路	随時	修繕の詳細設計時

3. 計画期間

3.1 計画期間

当該長寿命化修繕計画の計画期間は、5年とする。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定します。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成 26 年度に点検した 33.9km の診断結果は以下のとおり

	MCI 値 5.0 以上	MCI 値 5.0 未満
分類 C の道路	7.7km	5.8km
分類 D の道路	8.2km	12.2km

- ・平成 29 年度に点検した 33.9km の診断結果は以下のとおり

	MCI 値 5.0 以上	MCI 値 5.0 未満
分類 C の道路	0.2km	0.8km
分類 D の道路	0.0km	1.1km

5.2 対策内容と実施時期

別表、別図のとおり